

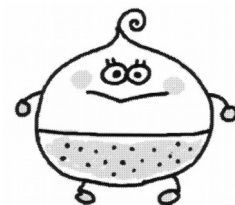
# HDM推進会（第 61回）／ごみゼロネット推進会（第 83）議事録

開催日： 2015 年（H27 年）4 月 8 日（水）10:00 ～ 12:00

場 所： コミュニティサロン・はけ

出席者： 加藤、杉本、大橋、桐生、林、川村（作成）

議 題：



1. 資料「三市可燃ごみ広域化計画の（日野市）住民団体」「2015 年 3 月、ごみ・生ごみの動き」についての説明（別紙加藤さん作成）

●日野市の各団体いろいろな動きとなっている

- ・新石自治会は総会にて「広域化反対活動」の終結宣言をした、  
今後は条件協議が主となる
- ・浅川南クリーンセンター周辺住民の会は、半径 500 m の住民の 70 % の署名を集め市長に手渡した
- ・日野市の広域化反対は、5 団体、日野市が地元協議会として話し合いを持っている 3 団体、  
日野市はそれぞれの団体と個別協議をしている

●周辺環境整備費の内容を予算特別委員会で内容の一部を明らかにした、

- ・搬入経路の整備として 14.5 億、地元要望実現 55.5 億としている
- ・内容については非常にアバウトである、地元で特に要望していないものもあるようだ、
- ・小金井市は 35 億も出すのに なにも言えないのが現状 日野のいいなりとなっている

2. 資料「日野市・国分寺市・小金井市の一般廃棄物処理計画からみた焼却処理規模等」についての説明（別紙加藤さん作成）

- ・日野市 H 29 年度計画値 31,483 t 国分寺市 H 30 年度計画値 16,314 t  
小金井市は処理計画の目標値は示していないが、加藤さん試算焼却量 H 31 年度 11,929 t  
3 市合計 59,726 t となり 焼却規模としては 204 t / 日となる
- ・年間稼働日 280 日と設定 その 96 % 稼働として 59,500 t としているので 余裕は少しある
- ・災害時の対応としては 多摩地区焼却施設 6 か所あり 133 万 t 能力に対し 74 万 t 処理 稼働率は 55.6 % なので 広域処理すれば 対応できる
- ・焼却量の 1 割を各市で処理を行えば 184 t / 日の焼却規模となる
- ・小金井市は 2 枚橋に施設をつくれれば良い 日野市のごみゼロプランには「生ごみの資源化の仕組みをつくる」とあり もともと非焼却方向であった、 国分寺も実験的に分別収集を行っている

3. 加藤さんが 3 月 27 日 におこなった 中間処理施設での講演は盛況であった

- ・ごみ担当課長も最後までいた
- ・他市からの出席者も 20 名程いた
- ・配布資料はどこからのものか、はっきりしないようになっていた HDM についてもあったが、

4. ビラについて

- ・いろいろな議論をしたが、加藤さんに山本さん作成のビラ内容を一部検討する事をお願いした、

5. その他

- ・焼却施設の 204 t / 日は 現状と同じ量
- ・加藤さんが以前より強力に薦められていた ごみかん 21 の理事に就任するとの事
- ・市民にごみ問題の現状についてを 3 月 27 日の講演会のように開いて それについてビラを作成すれば良いと思われる
- ・施設整備費についても小金井市議は 避けている様子である、

- ・分別について小金井市の 行政・市議もやらない方向だが ごみ減量の観念から言い続ける必要あるのではないか
- ・ごみ排出量の少なさ 全国最上位クラスは お金をかけてのもの、事業系の少なさのため 家庭系ごみ排出量の少なさは 多摩地区で5 番目くらい トータル的には 如何なものか
- ・今後のHDM推進会としての活動についてもどうするか いろいろな考えがあるので、話し合いながら進めていくのが良いと思われます。

以上

次回打合せ 5月13日（水）10:00～12:00 コミュニティサロン・はけ

